

「出逢い」の春です

校長 古屋 澄人

今年の3月は温かい日々が続いたせいか、桜は例年より早く開花しました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。私は、榮校長の後を受け、青葉区の恩田小学校から折本小学校校長として着任しました古屋 澄人（ふるやすみと）と申します。今年創立72周年目を迎えて歴史と伝統があり、家庭・地域に支えながら共に学校教育活動を推進している本校に着任できたことを光栄に感じています。保護者・地域の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。



さて、折本小学校との出逢いの印象は、校門に入ってすぐに目に入った見事に咲いたパンジーの鉢植えでした。そして、なにより校舎の周辺に広がる豊かな教育環境が印象的でした。大熊川が流れ、学校を囲むように畑や森林があり、町工場や寺院を発見しました。歴史や自然にとっても恵まれた折本小学校の教育環境を最大限に生かして、子どもたちの健やかな成長に向けて尽力していきたいと思ひました。4月は、子どもたちにとっても保護者や地域の皆様、そして教職員にとっても様々な出逢いの季節です。子どもたちにとっては「安心して通える学校」、保護者や地域の皆様にとっては「安心してあずけられる学校」、そして、教職員にとっては「安心して勤められる学校」を目指していきます。また、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止にむけても細心の注意を払いながら教育活動を進めていきます。

折本小学校学校教育目標

夢をもち 自分たちの力で 未来を創り出す子ども
～やりぬく子 ともに生きる子～

折本小学校のすべての教育活動は、この学校教育活動の実現にむけて進めていきます。より豊かな生活を創り出すためには目標や「夢をもつ」ことが大切です。その夢の実現に向けて、自ら壁を乗り越えてよりよく課題を解決していく力が求められます。そこには粘り強さや他者と協働する力も大切です。「自分たちの力で」という言葉にはそのような意味が込められています。そして、予測が困難な時代と言われる現在、これから求められる持続可能な社会の創り手となるよう「未来を創り出す子ども」の育成を目指していきます。

保護者および地域の皆様には、折本小学校のファミリーの一員として、学校・家庭・地域がつながりあって本校の教育活動を支えていただきますよう1年間よろしくお願ひいたします。